



Living My Dream Life

in ふじのくに

イメージを形にできる  
毎日が楽しい。

アパレルブランド「HUIS」代表  
まつした

## 松下あゆみさん

(明石市出身)

1981年兵庫県明石市生まれ。結婚を機に夫の郷里・浜松へ移住。2014年、遠州織物に特化したアパレルブランド「HUIS」を立ち上げる。大規模ファッションイベント「TGCしずおか2019」への衣装提供も追い風となり、全国的な注目を集める。三児の母。



HUISは有名百貨店の催事などで注目を集める。イベントでは生地魅力を語り尽くすという。



遠州織物を用いたHUISの製品。シャトル織機による生地づくりは、多くの時間と手間を要するが、風合いや耐久性は別格。

遠州織物の魅力を全国へ向けて発信するのが「楽しい」と語る松下あゆみさん。

「浜松は子どもを育てやすいところ」。この何気ない台詞はアパレルブランド「HUIS(ハウス)」の代表・松下あゆみさんの遠州織物との関わり方に重なる。

結婚を機に浜松へ移住した松下さんは、建築設計士と住まいづくりを進める中で、自分のイメージを形にしていく作業に魅せられた。その後、思いがけず遠州織物と出会い、夫とともにハウスを立ち上げた。

ハウスで使用するのは、遠州織物の中でも世界的に希少な旧式の「シャトル織機」で織られる生地。心地良い肌触りと高い耐久性で、海外の高級ブランド服にも使われる。着こんで、洗いこむほどに増す風合いは「生地が育つ」と形容される。そんな特別な生地で「普段使いのシャツを作りたい」と思い立ったのがハウスの原点だ。「暮らしに寄り添い、家族の愛着を育むような服を提供したい」と松下さん。

「私たちが伝えたいのは生地のすこさ。そこには遠州の文化や職人の心意気が詰まっています。現在、全国へ販売網を広げていますが、アピールしたいのはその部分に尽きますね。」

長年の着用を通して「育てる生地」。地元を「子どもを育てやすいところ」と語る言葉には、暮らしの中にこそ夢や愛着を追い求める、松下さんの思いが込められている。